

第36号

発行所 大阪市史跡 龍溪禅師墓所
 靈 龜 山 九 島 禅 院
 〒550-0022大阪市西区本田3丁目4-18
 ☎06-6583-2725
 発行人 住 職 奥 田 啓 知 (智證)

大阪にオリンピックを！
 九条に中華街を！
 阪神西大阪線延伸決定！

バミリアン巨大仏像破壊

— 仏像は祈りの対象です —



今年三月、内戦が続くアフガニスタンでイスラム原理主義勢力タリバンにより、同国中部のバミリアンにある世界最大の石仏二体が破壊されました。タリバンは「神はアラーム・ド・オマル師は「神はアラームの神だけであり、偶像は今もこれからも誤って崇拜されないよう破壊すべき」と布告を出し、バミリアンの石仏のほか、ガンダラ美術の宝庫と言われた首都カプールの国立美術館収蔵の彫像までもが破壊されたと伝えられています。

アラブの国々を訪れる時には人形をお土産に持っていきません。イスラム教では偶像崇拜を禁じているので、偶像である人形は、空港で係官が人形の首を無残にもちよん切ってしまうのだそうです。

仏教の場合には、別段、偶像崇拜が禁止されているわけではありませぬ。なぜなら、悟りを開いた聖者である仏陀が人間だからです。

イスラム教ではアラームの神は

人間をこえた存在、唯一絶対の存在であり、そのような神の像をつくるなら、神はとたんに低次元で卑俗な存在になってしまいうからです。なぜなら、創られた像に対しては、人間は好き・嫌いを言いはじめるとしようしてもっと美しい像を考案することが出来るからです。つまり、創られた像は比較の対象となり、相対的な存在でしかないからです。像を創ることは神を卑しめることになり、偶像を禁止したので

仏教では、人間である仏陀の死後六百年の後に釈迦さまの説かれた經典ができましたが、どの經典にも、その仏さまの姿、形について全く触れられていません。そこで、釈迦さまのお姿について伝えられている特徴（如来の三十二相・八十種好）をもとに、紀元後一、二世紀の頃に、最初にお釈迦さまの像が創られました。

つぎに、經典のなかにで多くの仏さまの像が、お釈迦さまの姿をもとに創られたので

です。經典に説かれる仏（ほとけ）は、宇宙大に拡がった毘盧遮那仏だとか、極楽世界の阿彌陀仏など、私たちには目に見えない存在で、姿・形のない仏を拜むために仏像が創られたのです。

したがって仏像は、仏（ほとけ）の究極・最高の姿を刻んでいるのです。だから、仏像は美しく、自然に手を合わせたくなってお姿をしています。しかし、仏像は美術品ではありません。あくまで祈りの対象であることを忘れてはなりません。

現在、アフガニスタンにはこれら仏像を信仰の対象として礼拝する者はおらず、仏像の存在が同国のイスラム社会に悪影響をおよぼしているといえます。仏像という文化財を人質に国連の制裁緩和をねらったタリバンの蛮行には憤りを感じますが、私たち日本人にとって「仏像とは何か」と思いを巡らせるべきではないでしょうか。

九島院の歌でさる

梵鐘入魂法要で披露

今春の山門会（彼岸法要）で、既報のように当院に梵鐘が新鑄されました。寺曆を調べると「撰津名所

図絵」には鐘楼とおぼしき建物も見当たらず、戦災にあつた山門も、楼閣上には「お盆の夜墓参のための真鍮のロー

九島院・梵鐘設置祝い歌

作詩・作曲／リピート山中

禅禅禅宗 禅禅禅宗 禅禅禅宗 九九九 九島院

インゲン豆でお馴染みの 隠元禅師が開かれた黄檗宗萬福寺が 大本山の この九島院は禅の寺

住職の啓知和尚は二十五代目 龍谷大学の落研出身 屬子を木魚に持ちかえて 南無釈迦牟尼佛で 檀家をまわる

禅禅禅宗 禅禅禅宗 禅禅禅宗 九九九 九島院

三百五十年をさかのぼる 九島院の歴史のなかで 初めて釣り鐘できました やっと撞けます 除夜の鐘

ひとつ撞きたび打ち 砕く 人の心の煩惱を 響け鐘の音おごそかに 届け無常の時を越えて

梵梵梵鐘 梵梵梵鐘 梵梵梵鐘 梵 梵 梵梵梵鐘

ハッピー梵鐘 ビューティィ梵鐘 ミラクル梵鐘
フォーエバー すてきな梵鐘

の夜墓参のための真鍮のローソク立てがしまつてあつた」（叔母さんの弁）とのことで当院創建以来初めてのことでした。

当日は小柄の母校龍谷大学落語研究会の大先輩で桂雀三郎師匠とまんぶくブラザーズに来院いただき、一時間ほどミニコンサートをしていただきました。

コミカルでしかも人情のこもった歌声で、七十名ほどの参詣者一同楽ししい一時を過ごせました。

また、終了後は山門前に場を移し、梵鐘の入魂法要に引き続き記念の初撞きを桂雀三郎師匠にしてもらいました。師匠には無理を言って、当院の梵鐘入魂にあたり記念の歌を作っていたいただき、コンサートで披露してもらいました。この曲は、まんぶくブラザーズのリーダーのリピート山中氏（毎週木曜日午後七時放映の毎日放送「魔法のレストラン」で即興の曲を作詩作曲演奏されています）が作詩作曲され、当日出来上がったばかりの曲でした。軽快なリズムとユーモアあふれる歌詞で一度聞くと耳



梵鐘の初撞きをする桂雀三郎師匠

に付き、思わず口ずさんでしまふと評判でした。五月廿六・廿七日には梅田のパナホールでのライブコンサートでも演奏され場内爆笑で大好評でした。歌詞は上のおりです。また、機会をみてご披露させていただきます。

尚、梵鐘は楼閣に設置しましたが、鐘を撞く時のみ楼閣の窓ガラスをはずし、撞木・撞き綱をつけ脇戸のところまで撞くかたちになります。今後は、当院の法要時と大晦日の除夜に撞く予定です。

大阪にオリンピックを！ 九条に中華街を！

阪神西大阪線延伸決定！



○関西歴史街道で放映

今春四月十一日(水) A
BC放送「関西歴史街道」という番組で当院が紹介されました。ユニバーサルスタジオができた関係か、安治川を逆上り取材され五日にわたって放映されました。三月二十九日の撮影にはクレールン車や撮影のためのレールが引かれ、十三人もスタッフが来院され、賑やかな騒ぎでした。
慶讃ビデオ「龍溪」は、友人の中瀬古氏と住職の二人だけで作ったものですがプロだけあってさすがでした。ニュースステーションの前の放映なので、大勢の方が見ておられ、九島院の放映に鼻高々とお声も頂きました。

○相合傘に参加

近くにある「らあめんやさん」というラーメン屋の常連の一人となりました。主人劉さんは、お祖父さ

んが戦前の川口でソバの製造卸をされていたとのこと、小さな店ですが、主人の交際の広さか、川柳人、芸術家、劇団人など多種多才な人々が食べにこられます。いろいろな意味で人的交流が楽しめる店です。主人は最近、川柳に凝られその影響で住職も五七五をひねり、右下の句で受賞しました。

「相合傘」という桂三枝師匠主催の上方文化人川柳の会にも参加させていたたくこととなりました。同会は新聞でも報じられ本も出版しています。

○本堂の改修工事

昨今、参詣者が増えてきましたので、内陣の両壁をとり、広く使えるように改修工事を致します。また、内陣部分も前回補修していなかったもので、床下部分の補強工事もあわせて実施します。工期は十月より二月までです。ご不便をお掛けしますがご諒解下さい。

第八回修養会のご案内

本年の修養会の参加者を募集します。前回より禅宗寺院拝塔および当院御本尊観音菩薩に因み観音まいりを主目的の修養会としますが、本年は、平山郁夫画伯の「大唐西域壁画」の鑑賞と薬師寺三蔵印伽藍の拝塔と黄檗宗二禅寺を拝塔いたします。

永慶寺は大和郡山市のあり、赤穂浪士で有名な老中柳吉保公の菩提寺で郡山城内にあります。また、王龍寺は珍しい磨崖を誇る寺です。昼食は奈良パークホテルで美味しい大和料理を頂き、主目的の薬師寺の平山郁夫画伯の「大唐西域壁画」の拝観する予定です。

秋の一日、古都奈良近辺の禅寺巡り、ゆったりと過ごしましよ是非、お誘いの上ご参加下さい。

募 集 要 項

- 日 時 11月 4日(日) 8時半集合
- 集合場所 九島院より貸し切りバスに乘車
- 旅 程 九島院-永慶寺-王龍寺-奈良パークホテル(大和料理 萬佳) - 薬師寺-九島院(4時半頃解散予定)
- 会 費 1万円(食事・拝観料込み 当日徴収)
- 募集人員 40名(満員になり次第締め切り)

※先着順です。申し込みは、当院(☎06-6583-2725)まで。出発当日の半月前に確認書をご郵送します。

NHK川柳道場5/31放送分で

宿題「集まる」で とっておき賞を受賞

とりあえず並んどいてと

言うおかん

奉納抄

金毫百万円奉納

(平成十三年三月六日)

絹川勝一さまより、大本山での二千年大授戒の記念に亡父君勝定さまと亡母君菊江さま、ご先祖さまのご供養にと奉納されました。本堂前の転法輪その他、本堂改修に使わせて頂きます。

編集後記

▼イチロー・新庄がアメリカカリーグで大活躍をしています。渡米まえには未知の世界に乗り出す無謀さを指摘する声もありました。

▼ご開山龍溪禪師は、自己の境涯を点検したく、入唐を切望されていましたが、鎖国でその夢はついに叶うことができませんでした。

▼しかし、当院での大津波での水定示寂時の遺偈の『却倒胥江八月潮』の文

言に『隠元禪師と出会われ、日本に居ながら、中国臨濟禪の深遠を会得された』禪師一生の軌跡を振り返り、男児の本懐を遂げた満足感が読み取れます
▼自由に往来の許された現代をあり難く思うとともに、自己の持ち分の中で精一杯精進することで魂の昇華を得ることの可能性を信じてやみません。
▼今秋の本堂改修では、劉新華(桂上登)画伯にお願いをして、新調する襖に、龍溪禪師の入唐の熱き憶いを、隠元禪師ゆかりの中国風景に描き、馳走したく準備をしています。

●雷 紋

今春、某家の墓前で五十回忌のご回向を依頼されました。当日は故人が卒業された池田高校の山岳部の仲間が大勢参詣されました。

故人は、昭和27年同校を卒業され、京都府立西京大学(現 京都府立大学)農学部林学科に入学されました。高校時代から引き続き山岳部に所属、昭和28年8月19日、立山連峰縦走登山のさなか、落雷に打たれ亡くなりました。享年19歳1ヶ月の若さでした。

池田高校山岳部OBの仲間が故人の50回忌を機に『某氏の追悼文集』を企画され、菩提寺九島院の某家の墓前で、文集刊行の報告と慰霊の集いを計画されたのです。

遭難事故は、天候悪化の為、立山連峰越中スゴ小屋から五色小屋へ引き返す途中、5人の一行に雷魔が襲ったのです。二番目に歩いていた故人のピッケルに落雷。故人は即死、重軽傷者3名でした。奇的に助かった者が急報し、すぐに救援隊が現行、山頂より無電で遺族に連絡したそうです。

雷撃を受けたピッケルは、故人がこの登山にあたり、岳友に無心して買った高価なもので、検死にあたったのは、救援隊に参加した同高校山岳部の医学断書を書く資格などありませんでしたが、山小屋のこと地元の警察の了解を得て書かれたそうで、彼の医師としての出発点が、図らずも岳友の遭難死だったのです。

慰霊祭は雲ひとつない青空の下、七十歳を数える岳友が、それぞれ辿ってきた人生を振り返りつつ若くして亡くなった岳友のため追悼のひとつときを持たれました。

文集の題『雷紋』とは高電流が体内に流れたとき皮膚にできる損傷のことです。同友が現場で慰霊報告され



水 灯 会 ・ お 施 餓 鬼 法 要

8 月 1 9 日 (日)
午後 1 時半より

※ご先祖供養です。宗旨に関係ありません
ご回向お申し込み下さい。

法 話 住 職

ご
案
内

西暦二〇〇八年

大阪にオリピックを招致しよう!